

# 久米島町の 新たな観光ビジョン



問い合わせ先

久米島町役場 商工観光課 ☎ 098-851-9162

Contents

- 0 はじめに
- 1 久米島を取り巻く状況
- 2 久米島観光の課題
- 3 久米島における新たな観光ビジョン
- 4 今後の展開に向けた整理

# 0 はじめに

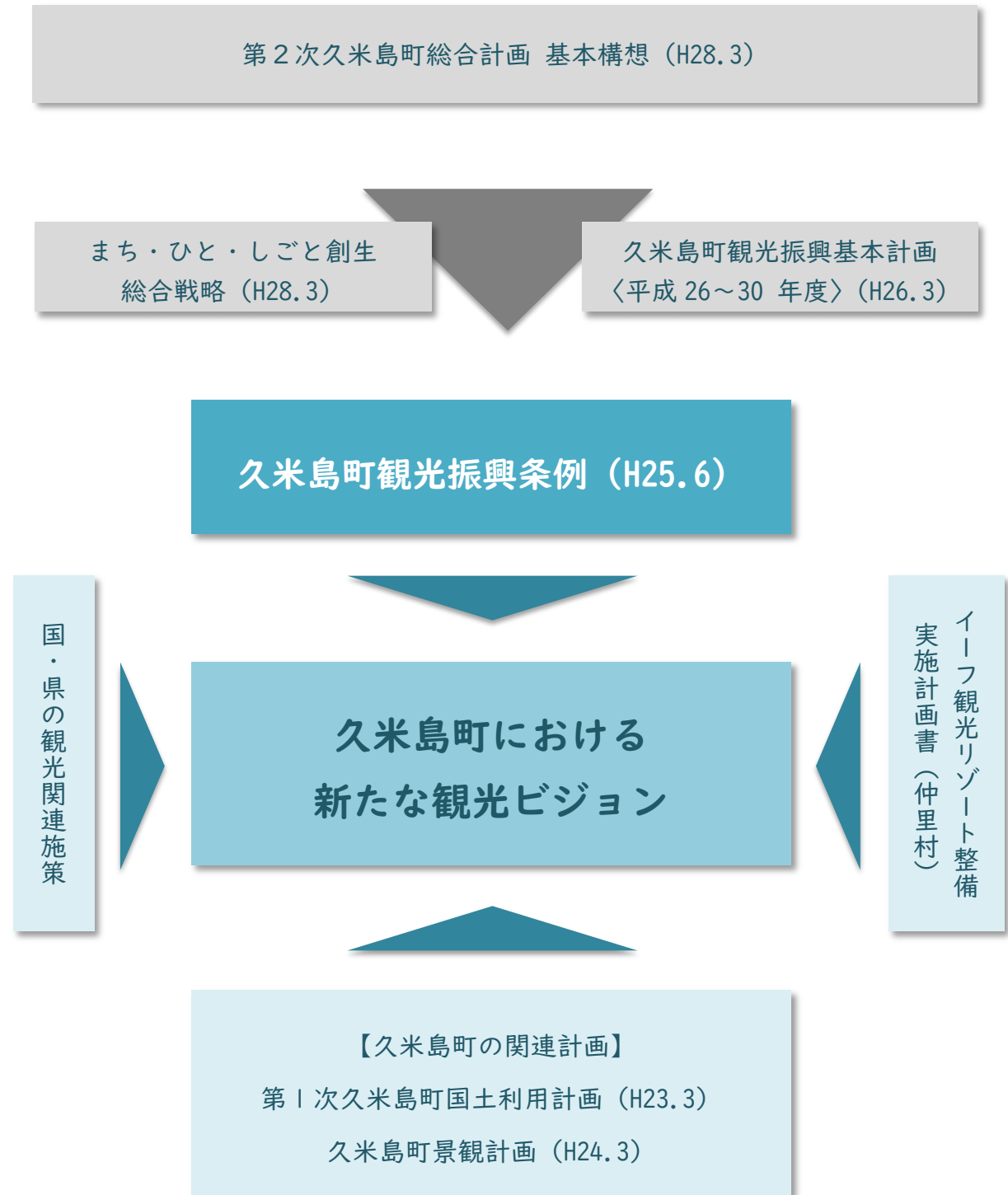
久米島町では、平成 25 年度に観光振興基本計画、平成 27 年度に総合計画を策定し、観光振興等に取り組んでいるところであり、平成 30 年度における観光入込客数の目標を 12 万人と設定しています。平成 26～28 年度まで、3 年連続で観光入込客数年度目標を達成しており、順調な増加を示しています（平成 28 年度：約 11.2 万人（対前年 +7.7%））。

沖縄県全体に目を向けると、平成 28 年度における入域観光客数は約 877 万人（対前年 +10.5%）と過去最高を更新しました。とりわけ、外国人観光客は約 213 万人（対前年 +27.5%）と大幅に増加しており、全県の目標フレームを「平成 33 年の観光客数 1,200 万人、観光収入 1.1 兆円」と上方修正するなど取組を推進しています。

久米島観光においては、従来から指摘されているピーク期の宿泊施設・飲食店の不足や海洋レジャー以外の観光資源の活用不足、二次交通の脆弱性の解消などの課題に向けて取り組むことが重要である一方で、島民生活への影響や受入れ側の状況を考慮しながら、久米島観光の目指すべき将来像や方向性を明確にしていくことが必要です。

本ビジョンは、久米島町における適正な観光振興やリゾートとしての高質化に向けて、最近の久米島観光の動向を踏まえた全体コンセプトを立てることで、町民及び観光事業者などが観光に対するビジョンを共有することを目的としています。

また、新たな観光ビジョンを実現するための方策や今後の久米島町において注力すべき観光振興施策などの新たな指針を掲げます。

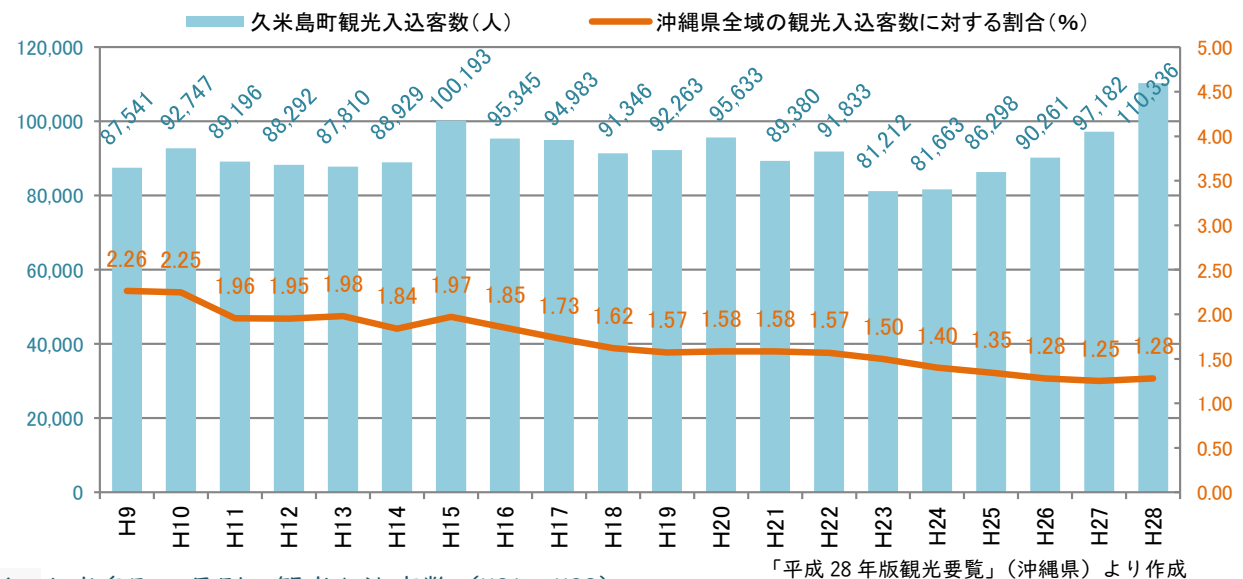


# 1 久米島を取り巻く状況

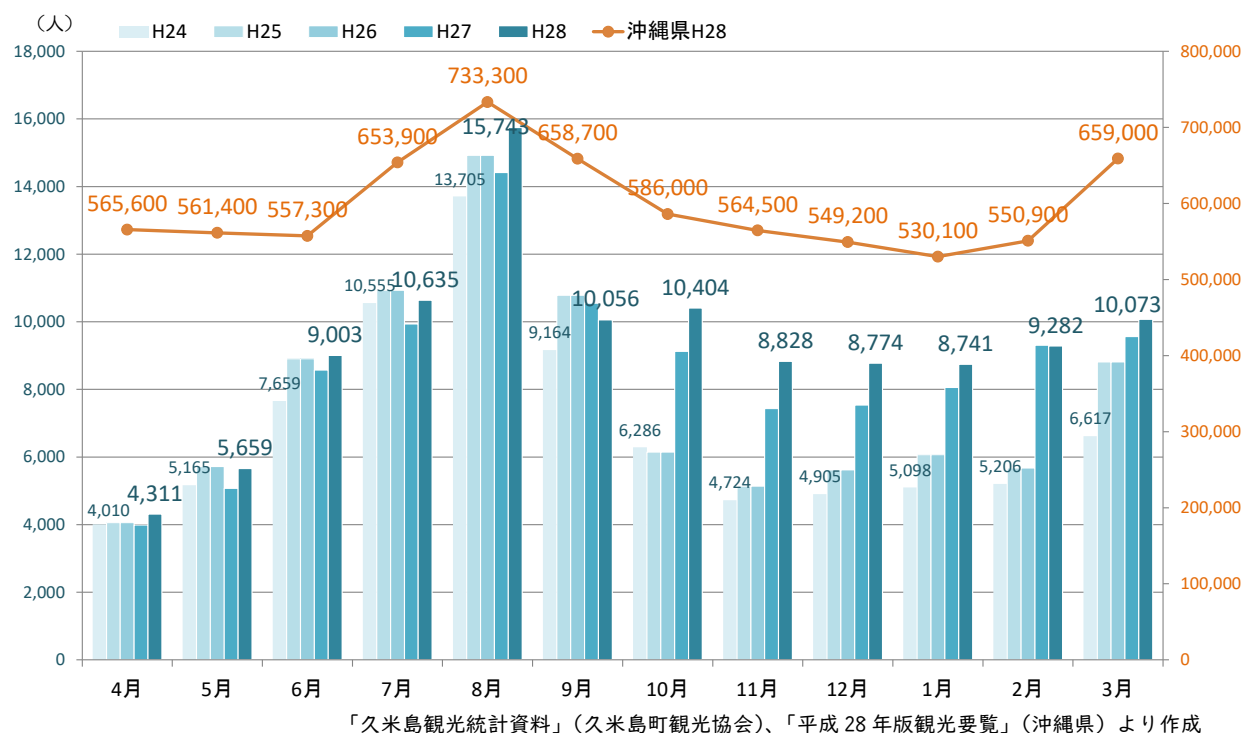
最近の久米島町では順調に観光客数が増加しています。しかし、沖縄県全域に対する割合は減少傾向であり、外国人観光客数の割合も低い傾向です。

夏のシーズンに訪れる人が多く、観光客の少ない4月では8月の観光客数の3分の1以下と偏りがあります。観光客の属性としては、夫婦・カップルと女性グループ客が多く、若年層～中年層が多いのが特徴です。

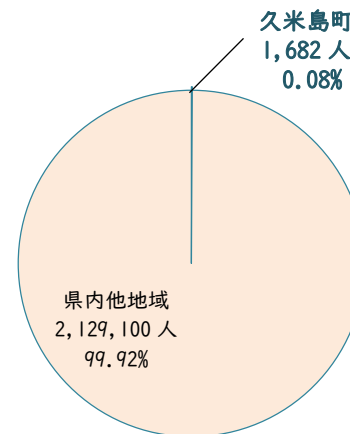
## 久米島町の観光入込客数と沖縄県全域の観光入込客数に対する割合



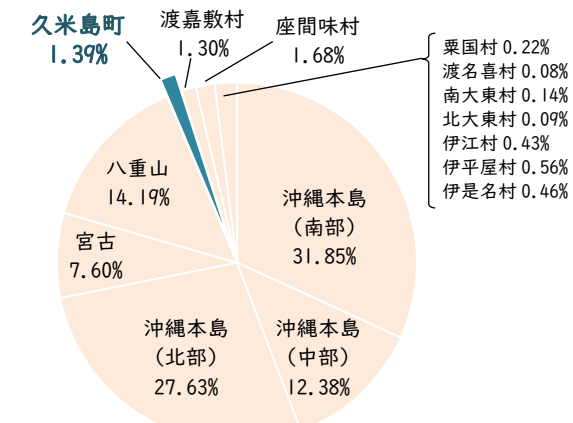
## 久米島町の月別の観光入込客数 (H24～H28)



## 沖縄県全域に対する久米島町の外国人観光入込客数の割合 (H28)

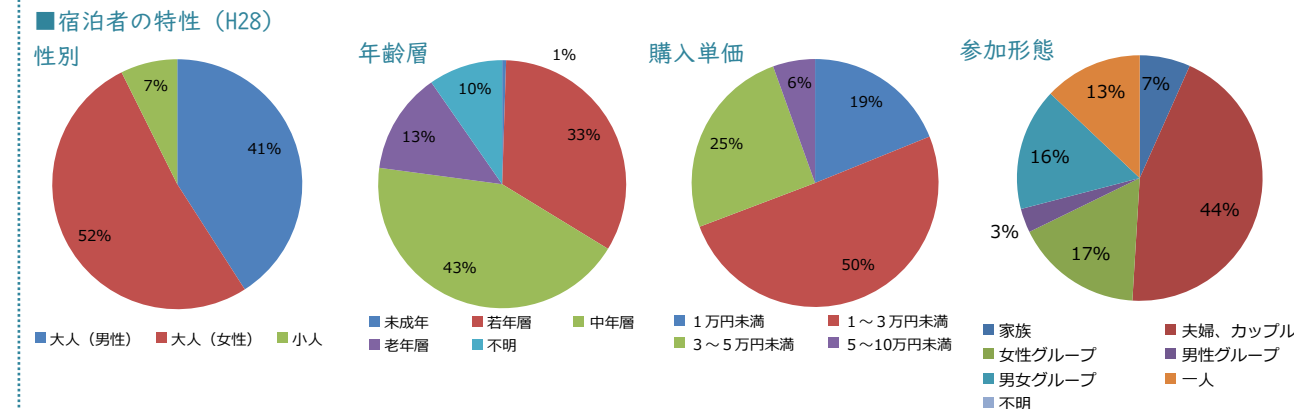


## 沖縄県全域における宿泊施設の収容人数の割合 (H28)

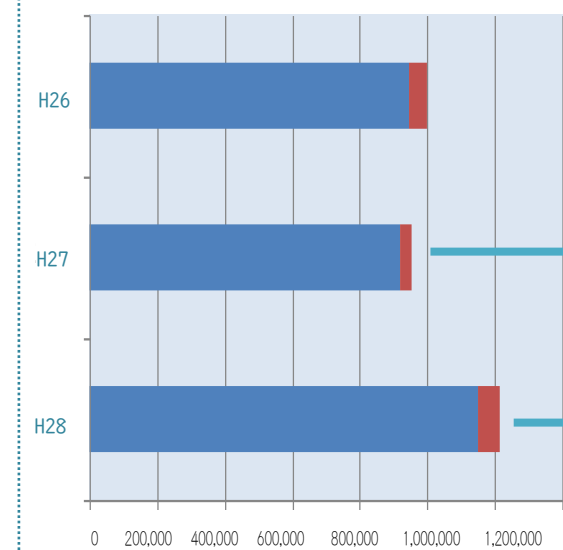


「平成28年版観光要覧」(沖縄県)より作成

## 久米島町における宿泊者の傾向



## 国内外観光客数の推移



## 都道府県・国別宿泊者数ランキング

国内				国外			
順位	都道府県名	宿泊者数	割合	順位	国名	宿泊者数	割合
1	東京都	26,244	29%	1	フランス	924	25%
2	神奈川県	9,864	11%	2	中国	736	20%
3	千葉県	7,316	8%	3	アメリカ	466	13%
4	埼玉県	6,295	7%	4	イタリア	462	13%
5	沖縄県	5,089	6%	5	香港	343	9%
6	広島県	5,069	6%	6	シンガポール	325	9%
7	大阪府	4,262	5%	7	マカオ	248	7%
8	愛知県	3,700	4%	8	台湾	148	4%
9	北海道	3,418	4%	9	韓国	29	1%
10	福岡県	1,915	2%				

久米島町観光協会提供資料より

# 1 久米島を取り巻く状況

久米島町では海洋深層水を活用した様々な事業が行われており、経済的自立地域を目指して更に力を入れているところです。また、恵まれた自然環境などを生かしたスポーツイベント・交流も特徴です。

最近では、銭田森林公園での風の帰る森プロジェクトやバーデハウスを中心としたウェルネスの取り組みなどの新しい取り組みも行われています。

## ❖ 海洋深層水を活用した取り組み

ハワイに次いで世界第2位の取水量

- バーデハウス久米島
- 海洋温度差発電実証実験
- 海洋深層水を活用した水産物・製品
  - 水産物養殖（車えび・海ぶどう・カキ）
  - 飲料水・塩製造
  - 化粧品製造



**深層水利活用  
モデル地域**

バーデハウス HP、OTEC 沖縄県海洋温度差発電実証設備 HP より

## ❖ 風の帰る森プロジェクト

子どもたち向けの交流拠点づくり

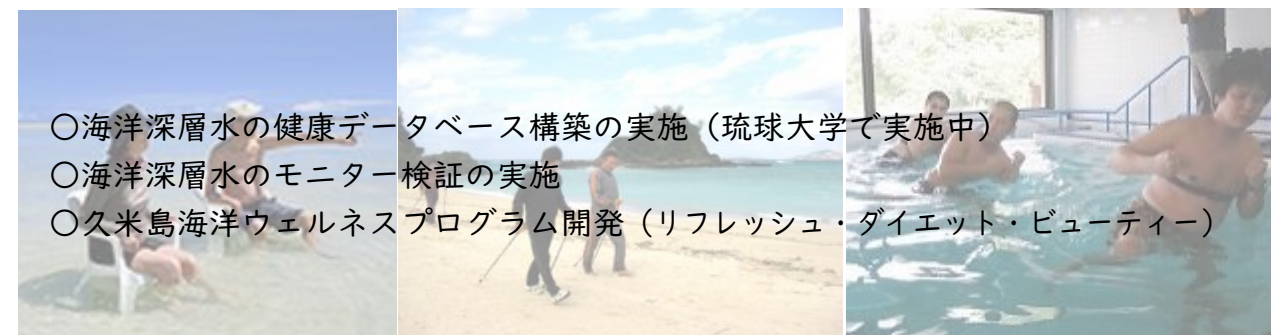
- 自然から学び感性を育むためのフィールド
- イーリゾート地域との連携



**子どもたち向けの  
交流拠点施設**

## ❖ ウェルネスの取り組み

健康・医療・福祉分野 × 観光



- 海洋深層水の健康データベース構築の実施（琉球大学で実施中）
- 海洋深層水のモニター検証の実施
- 久米島海洋ウェルネスプログラム開発（リフレッシュ・ダイエット・ビューティー）

**「ウェルネスコミュニティ久米島」**

健康的ライフスタイル“体験”と“交流”“滞在”が連動し  
市民の医療福祉基盤と産業活性が両立

ウェルネスツーリズム と 域内外交流型コミュニティ形成 の循環により  
体験（旅行）⇒ 滞在（養生）⇒ 中長期滞在 ⇒ 二拠点居住 ⇒ 定住 へ

琉球大学荒川雅志教授提供資料より

## ❖ 豊富なスポーツイベント

スポーツによる観光振興・交流促進

久米島のんびりウォーク（1月）  
東北楽天ゴールデンイーグルス春季キャンプ（2月）  
宜野湾～久米島ヨットレース（5月）  
ハーリー（5～6月）  
沖縄角力大会（6～9月）  
久米島マラソン（10月）

**スポーツ**

**アイランド**

久米島町観光協会 HP、東北楽天ゴールデンイーグルス HP より

# 1 久米島を取り巻く状況

❖ 久米島町の観光資源など



久米島町では東側と西側に観光資源や飲食店・ホテル等が集まっており、北側と南側には豊かな自然環境が広がっています。  
観光資源は「海」に関係するものが多いですが、ラムサール条約湿地などの豊かな「山」、城跡や上江洲家などの「歴史」、久米島紬などの「産業」にまつわる多様な資源があるのが特徴です。

	東部地区	西部地区	南部地区	北部地区
行政区	真謝、宇根、真泊、東奥武、西奥武、泊、謝名堂、比嘉、イーフ、真我里、銭田、島尻	仲村渠、具志川、仲地、山里、上江洲、西銘、久間地、大原、北原、鳥島、仲泊、大田、兼城	山城、儀間、嘉手苅	宇江城、比屋定、上阿嘉、下阿嘉
主要施設 観光資源	<ul style="list-style-type: none"> <li>ハテの浜</li> <li>バーデハウス久米島</li> <li>畳石</li> <li>奥武島キャンプ場</li> <li>久米島ウミガメ館</li> <li>イーフビーチ</li> <li>久米島紬ユイマール館</li> <li>真謝のチュラ福木</li> <li>旧仲里間切蔵元跡石牆</li> <li>登武那覇城跡</li> <li>沖縄県海洋深層水研究所</li> <li>海洋深層水ふれあい館</li> <li>銭田森林公園</li> <li>鳥の口 等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>久米島空港</li> <li>兼城港フェリーのりば</li> <li>シンリ浜</li> <li>ミーフガー</li> <li>上江洲家</li> <li>五枝の松</li> <li>具志川城跡</li> <li>おばけ坂</li> <li>あじまー館</li> <li>久米島ホテル館 等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>アーラ浜</li> <li>久米島博物館 等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>宇江城城跡</li> <li>比屋定バンタ</li> <li>タチジャミ</li> <li>熱帯魚の家 等</li> </ul>

## 2 久米島観光の課題

久米島町の観光に対する想いはそれぞれの立場によって少しずつ異なります。それぞれの想いを繋げる観光振興が重要です。

**観光客** …海や自然・風景の美しさが久米島の魅力。ハテの浜などの観光地をめぐり、ゆっくりしたり、海水浴を楽しむ。交通面など不便さもあるが、素朴さなどは今のままが良い。

**地元** …人や海洋深層水などが強みであるが、航空機や宿泊施設の改善、オフピークの底上げなどが必要。既存のものを生かして「食」「癒し」「健康」などの魅力の発信が重要。

**旅行業者** …認知度が低く、インバウンドは少ない傾向。素朴さや特産物が強みであるが、団体客の受け入れが難しいのが弱みで、観光地としての環境整備と魅力発信が課題。

**開発業者** …久米島のアピールポイント、知名度が弱い。宿泊施設の多様化、食や体験の効果的な訴求が課題。久米島のブランドを確立し、制度活用等により開発の機運を高める事も重要。

### 観光客の視点

- ❖ 久米島来訪の目的（上位3項目）
  - ・観光地めぐり（77%）
  - ・保養・休養（40%）
  - ・海水浴（32%）
- ❖ 訪問先・体験（上位3項目）
  - ・ハテの浜（63%）
  - ・イーフビーチ（44%）
  - ・畳石（43%）
- ❖ 久米島旅行の満足度
  - ・「旅行全体」に95%が満足・ほぼ満足。
  - 項目別では「宿泊施設」と「お食事」が80%と高い
  - ・おみやげなどのショップへの満足度が最も低い（満足・ほぼ満足63%）
- ❖ 久米島の課題・改善点
  - ・アクセス・交通の改善（17%）
  - ・今のままで良い（15%）
  - ・飲食店の数・質・情報（8%）
- ❖ 観光客の魅力・セールスポイント
  - ・「海」の美しさや綺麗さ（49%）
  - ・海を除く「自然・風景」（28%）
  - ・その他には、「食べ物」、「アクティビティ」、「癒し」、「人」、「素朴さ」

2018 アンケート調査より

### 地元（観光関係者）の視点

- ❖ 近年の久米島について
  - ・釣り、ダイビング、ハテの浜を求めて来訪する人が多い。
- ❖ 久米島の強み
  - ・人（人柄、おもてなし）
  - ・健康、癒し
  - ・海洋深層水を活用した取組み
  - ・スポーツイベント
- ❖ 久米島の弱み
  - ・航空機や宿泊施設のキャパシティ
  - ・メディアへの露出・PRが上手くできていない。
- ❖ 観光地としての課題
  - ・「量」や「安さ」の議論だけでなく、「質」や「将来像」の議論が必要
  - ・オフピークの底上げ
  - ・他業種（農林水産や紬など）との連携
- ❖ 久米島の目指すべき方向
  - ・既存のものを上手く生かした久米島の魅力発信が重要
  - ・「食」「癒し」「健康」などをキーワードとしたツーリズム
  - ・観光客だけでなく地元も幸せを享受できる取組みが必要

2017 ヒアリング調査より

### 旅行業者の視点

- ❖ 近年の久米島について
  - ・ハテの浜やバーデハウスの印象・需要が大きい
  - ・観光資源は沢山あるが認知度が低い
  - ・インバウンドは少ない傾向にある
- ❖ 久米島の強み
  - ・素朴さ、のどかさ、離島らしさ
  - ・島独自のアピールポイントがある（海洋深層水・車海老・海ぶどう）
  - ・スポーツイベント
- ❖ 久米島の弱み
  - ・団体客の受け入れが難しい
  - ・食事処が少ない
  - ・人がいない、さみしい
  - ・島内交通が不便
- ❖ 観光地としての課題
  - ・島内交通・宿泊施設の改善
  - ・現状あるものと新しいものを上手く活用した魅力発信、メディアへの露出増加

2017 ヒアリング調査より

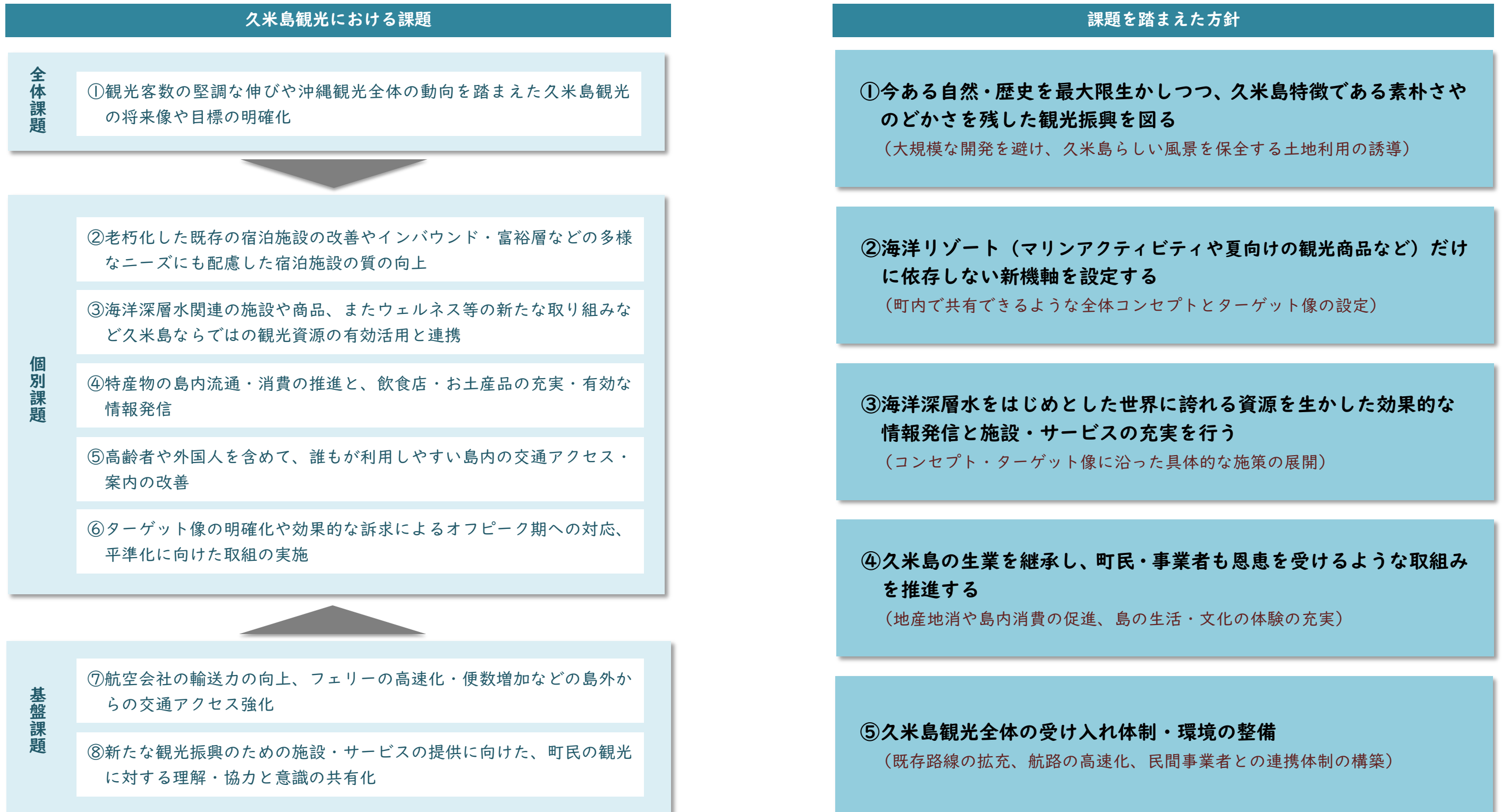
### 開発業者の視点

- ❖ 観光地・開発地としての久米島のポジション
  - ・宮古島や八重山と比べて、久米島の特徴やアピールポイントが見えにくい
  - ・石垣・宮古と比べると知名度が劣る
- ❖ 久米島の観光・開発における課題
  - ・宿泊施設の多様性が必要（ラグジュアリーも重要）
  - ・食や体験型コンテンツによる効果的な訴求
  - ・雇用の確保・人材の確保
- ❖ 目指すべき／考えられる方向
  - ・久米島のアピールポイントを打ち出し、ブランドを確立する必要がある
  - ・国の税制優遇制度の活用により、開発業者の機運を高める事も重要
  - ・ブランド力のあるホテルを誘致することも手として考えられる

2017 ヒアリング調査より

## 2 久米島観光の課題

久米島観光におけるこれまでの取り組みや最近の動向、観光客・地元・旅行者・開発業者の意見などを踏まえて、久米島観光の課題を整理し、課題を踏まえた5つの方針を設定しました。



### 3 久米島における新たな観光ビジョン

久米島観光における課題の解決と方針の達成に向けて、町民及び観光事業者等が共有し協力して取り組むための「久米島における新たな観光ビジョン」を掲げます。

#### ❖全体コンセプト

## 世界水準の癒しのウェルネスアイランド 久米島



#### 山紫水明の地

美しい海岸とその地形などの海の恵みと、ラムサールの森林・湿地などによる山の恵みを継承しながら、久米島独自に育まれた産業や歴史文化と融合することにより、唯一無二の素朴でのどかな風景と故郷のように落ち着くことができる環境を形成します。



#### 豊富な資源の宝庫

自然・特産物・アクティビティ等の既にある観光資源と世界に誇る海洋深層水を活用した取組みを、ウェルネス（癒し、健康、美容、食等）のストーリーで磨き上げ、訴求力のあるプログラムやサービス（ヨガ、スパ、ウォーキング、紬着付等）を提供します。



#### 文化・生活の場

久米島らしい自然や温かい人々、グスク等の歴史文化、紬や農業・漁業などの産業など、実際の生活に触れながら、ゆったりと心身の疲れを癒し、本来の自分を取り戻す事の出来る場や体験を提供し、ゆっくりと何度も訪れたい久米島を目指します。

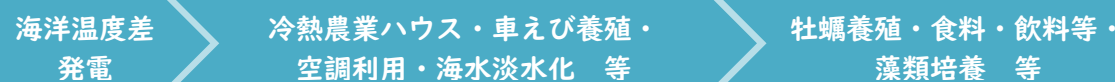
#### ❖ターゲット像

- ①万人受けよりも特定のニーズに応える観光メニュー
- ②ウェルネスのテーマに特化した訴求
- ③しっかり・ゆっくりと島の生活・文化を体験

- 個人・少数グループ、欧米系観光客
- 女性客や国内外富裕層
- ファミリー層やシルバー世代の夫婦

#### ❖今後期待される町内の動向

##### ①海洋深層水の多段利用による効率化・経済効果



##### ②久米島海洋深層水ウェルネスプログラム開発事業

【琉球大学との連携事業】 久米島海洋深層水の価値最大化（研究開発）  
海洋深層水利用施設であるバーデハウス久米島の利用促進  
→プログラム開発 **リフレッシュ** **ダイエット** **ビューティー**

##### ③風の帰る森プロジェクトと周辺環境の整備



##### ④その他

※奥武島南浜でのサンゴの養殖活動、花いっぱい運動の各地への展開、那覇⇄久米島の高速船の実証実験

#### ❖新たな観光ビジョンを体現するための方策

##### ①久米島らしい風景や文化を守る観光振興

無秩序な開発を防ぎ、久米島ならではのリゾート形成に向けた誘導 等

##### ②ウェルネスに特化した体験型商品の拡充とPR

健康増進、美容、食などの特定分野の企業・団体との連携、体験・宿泊施設の誘致 等

##### ③海洋深層水の魅力を生かした商品・サービスの充実とブランディング

水産物養殖・健康食品・化粧品などの新たな製品、体験・飲食・土産等の新規サービス 等

##### ④滞在型観光を促進する宿泊施設の多様化

農業・漁業・紬業など久米島の暮らしが体験できる民泊の推進、自然体験型コテージ 等

##### ⑤観光客だけでなく町民も元気になるプログラムの開発

町民の意識を高め、活動を促進する健康プログラム、地産地消の推進 等



### 3 久米島における新たな観光ビジョン

新たな観光ビジョンを体現するための方策について、全国の好事例を参照しながら整理しました。

#### 1 久米島らしい風景や文化を守る観光振興

特に豊かな自然環境を形成する南部・北部地区においては、久米島の魅力である素朴さやのどかさを継承していくため、最低限の観光環境の整備とともに、自然体験型の観光プログラムの実施により、自然環境・風景の保全活用を図ります。

観光資源が集積し、既に多くの観光客が訪れている東部・西部地区では、各地区の特徴・ポテンシャルを生かした観光振興を図ります。特に久米島観光の代表格であるハテの浜やイーフビーチ、伝統的な紬業や歴史資源のある真謝、風の帰る森の銭田など、多様なものが共存する東部地区では、エリア毎に将来像や方向性を定め、取組みメニューを設定することで、適正な観光・リゾート開発を図ります。

##### 森林セラピープログラム（信州・信濃町）

<http://www.fo-society.jp/quarter/shinano.html>



- ・1週間程度の滞在を基本とした保養・療養プラン
- ・利用者の都合や希望に合わせて、メディカルトレーナーと癒しの森を巡るプログラム
- ・四季を通じた多様な散策、食や宿の体験が可能

##### ポイント

豊かな自然環境を生かしながら、森林セラピーの概念にもとづいたプログラムにより医学的に「癒し効果」を体感できる

##### 自然環境の保全に配慮した環境整備（慶良間諸島・ナガンヌ島）

<http://www.nagannu.com>



- ・島内や周辺に生息する動植物の保護、生態系の保全、ゴミ削減のため、観光客の島内への飲食物の持ち込みは禁止
- ・水質保全のためシャワー利用の際、一般的なシャンプー、石けん等は利用不可。エコ系洗剤のみ可。

##### ポイント

自然にやさしい環境整備と適切な利用制限により、美しい風景や貴重な生態系を守り、来訪価値を高める

#### 2 ウェルネスに特化した体験型商品とPRの充実

既存の久米島ならではの商品やメニューを生かしながら、特定のテーマに沿った一連の体験・宿泊プログラムの開発により、ターゲット像のニーズに対応することが重要です。

例えば、海洋深層水の化粧品を生かしたエステ・メイクやバーデハウスでのスパなどの美容体験ツアー、効果的な運動・休養と測定・分析によるトータルな健康増進プログラム、食物アレルギー対応食・スローフードなどのニーズに対応する宿泊プラン、などを町内事業者や各分野を専門とする企業等と連携しながら、商品化や新規施設の整備に取り組むことが考えられます。

また、これらの各分野の体験型商品について、「ウェルネス」というキーワードで包括的にPRすることで、海洋リゾートだけではない久米島の新たな観光のイメージを創出します。

##### ウェルネスリゾート（北中城村・EM コスタビスタ沖縄/EM スパ コラソン沖縄）

<http://www.costavista.jp/>



- ・内装や家具、リネン類などの備品のほぼ全てがEM処理を施した仕様で、清掃の際にも合成洗剤等を使用しない安全・清潔な空間を提供
- ・自社農場で生産した農薬や化学肥料を使わない安全野菜を食事で提供
- ・同じ敷地内にスパ（EM コラソン沖縄）を併設

##### ポイント

EM技術を最大限生かしたトータルな空間・サービスの提供により、安全・安心できるウェルネスリゾートを提供

##### クアオルト事業（山形県上山温泉）

<http://www.city.kaminoyama.yamagata.jp/site/kurort/>



- ・「クアオルト」とは、ドイツ語で健康保養地・療養地の意味
- ・健康ウォーキングによる「運動」、地元食材を生かした食事による「栄養」、伝統のある温泉による「休養」

##### ポイント

「クアオルトスタイル」として科学的根拠に基づく里山歩き、旬産旬消、優しい温泉による「上質な健康保有地」を形成

### 3 久米島における新たな観光ビジョン

#### 3 海洋深層水の魅力を生かした商品・サービスの充実とブランディング

海洋深層水の取水量は世界第2位を誇り、温度差発電や水産物養殖など多方面での活用が進められています。また琉球大学と連携した海洋深層水による健康面での効果等に関する研究開発の世界的な拠点形成に向けた取り組みも行われています。これらの取り組みと連携しながら商品開発やサービスの充実を図ることで、またこのような世界水準の海洋深層水活用によるブランディングを行うことで、久米島の訪れてよし・住んでよしの地域としての価値を高めます。

**久米島における海洋深層水関連の研究開発～ビジネス** <http://www.gosea.info/jp/wp-content/uploads/2015/11/海洋深層水利用による地域づくり.pdf>

<p><b>既存事業の拡張</b></p> <p>技術と販売ルートが確立しており、確実な拡張が見込める分野</p>  <p>稲刈り 海ぶどう 久米島の特産物 食品・化粧品等</p>	<p><b>実証から商用へ</b></p> <p>現在久米島で実証中の分野</p>  <p>長崎陸上養殖 薬類育成</p>	<p><b>技術デモ/実証</b></p> <p>他地域へのモデルとしての技術デモ</p>  <p>海水淡水化 空調利用</p>	<p><b>技術開発</b></p> <p>将来需要が高い分野の研究開発</p>  <p>リチウム回収 バイオ利用</p>	<p><b>ポイント</b></p> <p>「海洋深層水活用モデル地域」として、経済的な自立を目標に掲げている</p>
---	--	---	---	---

#### 4 滞在型観光を促進する宿泊施設の多様化

今の久米島では、観光地を巡ったり、海水浴など海そのものを楽しむ1～2泊程度の観光がメインですが、これらに加えて宿泊施設の多様化を図ることで、新たな観光形態や滞在日数の延伸が期待されます。具体的には久米島における農業や漁業などの素朴でどかな島の生活を体験できるような民泊、1週間のプログラムを実行することで健康にあるいは美しくなれる宿泊体験施設、季節によって移り変わる久米島の山と海の恵みを感じることでできるコテージなどが例として挙げられます。このような多様なニーズや長期滞在に対応するため、既存の宿泊施設の充実や新規施設の誘致を図ります。

**農泊体験（栃木県・大田原ツーリズム）** <http://www.ohataragt.co.jp/index.html>



- 雄大な自然に囲まれ、土着の歴史や文化が色濃く残る大田原市を最大限活用した宿泊体験
- 教育・農業・自然・歴史文化・工芸など多岐に跨る体験プログラムを実施

**ポイント**

官民が連携した地域DMO(株)大田原ツーリズムにより地域事業者と連携したグリーンツーリズムを推進

**ラグジュアリーウェルネスリゾート（伊勢志摩・アマネム）** <https://www.aman.com/ja-jp>



- 国立公園内で、一般の立入りが制限された区域に位置する高級リゾート
- 伊勢の歴史と文化、美しい自然と調和した癒しの空間を提供
- ミネラル豊かな天然温泉を備える

**ポイント**

宿泊者のみが立ち入れる神聖な場所という特別感のある空間で、世界最高レベルのサービスを提供することにより、富裕層という特定のターゲットに訴求

デトックス・クレンジング  
ストレス・マネージメント  
スローエイジング

#### 5 観光客だけでなく町民も元気になるプログラムの開発

ウェルネスに関連した観光の取り組みは、世界の観光の潮流でもあるとともに、少子高齢化が進む久米島の町民にとっても大きな魅力となりえます。町民も利用できるようなプログラムとすることで、オフシーズンも平準的にプログラムを開催できるといったメリットがあるとともに、町民の健康増進を図り、観光振興の取り組みに対する町民の理解促進や活動協力等が期待できます。

**健康まちづくりプログラム（長岡市・ながおかタニタ健康くらぶ）** <https://www.nagaoka-kenkou.jp/rinen>



- 自治体と企業と連携し多世代の人が気軽に・楽しく・簡単に健康づくりに取り組める会員登録制の健康クラブ
- プログラムを実施すると「ながおか健康ポイント」が貯まり、市内の共通商品券や特産物・加工品等と交換が可能
- 計測器メーカーの(株)タニタと協同で、運動の計測・分析、カフェ事業等の展開などにより効率的な健康まちづくりを推進

**ポイント**

ウェルネスに関連する分野の企業等と連携することで、民間のノウハウを生かし、ネームバリューを活用した取り組みを展開することが可能

また健康づくりなど観光客のみだけでなく、町民にもメリットがあるプログラムの実施や仕組みづくりによりまち全体が元気に！

# 3 久米島における新たな観光ビジョン

❖ ウェルネスアイランドを形成する資源



写真は久米島町観光協会 HP、各事業者・団体 HP、離島観光・交流促進事業【島あっちい】HP より

## 4 今後の展開に向けた整理

島全体のコンセプトを踏まえ、島内各地区の特性を踏まえた役割（案）及び取り組みイメージを検討しました。

明確なゾーニング（観光エリアと住民エリアの区分など）を目的とするのではなく、各地区の特性を踏まえたコンセプトの具現化、及び対外発信の分かりやすさや今後の取り組みのための参考として整理しました。

### ❖ エリア別の役割（案）

東部 地区  ハテの浜 含む	<p>既存のポテンシャルとこれまでにない新たな開発・計画が融合した滞在型観光の拠点形成</p> <p>ハテの浜やイーフビーチ、奥武島などを中心とした久米島観光を牽引する既存の観光資源・施設と、海洋深層水施設や風の帰る森プロジェクトなどの今後の久米島観光の目玉となる施設が連携しながら、これまでにない観光リゾートの提供等により島内滞在における拠点として、特に観光振興に注力する</p>
西部 地区	<p>空港・フェリー港が立地するアクセス性の良さを生かした観光振興</p> <p>島外と久米島をつなぐ交通の拠点であり、多くの観光資源が立地する地区として、今後は、交通アクセス性をさらに生かすため移動環境の向上等により、観光振興を図る</p>
南部 地区	<p>久米島らしいのどかさを継承する環境づくり</p> <p>穏やかな海と山の自然、一面に広がる柔らかい緑色のサトウキビ畑等の農地の風景など、久米島の特徴であるのどかな風景や環境を継承する</p>
北部 地区	<p>自然の豊かさを最大限生かし魅せる環境づくり</p> <p>宇江城岳とそれを源流として広がるラムサール条約湿地、比屋定バンダなど久米島の自然の雄大さや豊かさが感じられる地域として、これらの自然環境・景観の保全・活用を図る</p>

### ❖ 全体・エリア別の取り組み

#### < 共通 >

- ・島内交通の改善（各事業者による既存のバスの拡充・連携など）
- ・自然・歴史文化・伝統工芸などの島の普遍的な資源を活かしたインバウンドへの訴求
- ・久米島の魅力の情報発信・PR（事業者等と連携した情報の一元化・SNSの活用など）

- ・観光資源の集積を活かし、新規プロジェクトと連携した基盤等の整理
- ・既存宿泊施設の充実や奥武島・オーハ島への新規宿泊施設の誘致に向けた仕組みづくり

- ・交通拠点と島内の観光地、宿泊施設等を結ぶ公共交通の検討
- ・既存の資源を巡る回遊の促進（サイクリングやウォーキング等の推進）
- ・マリーナ計画の推進、兼城港の再整備 など

- ・自然・景観を活かした観光振興（遊歩道・トイレ・バリアフリー等の環境整備）
- ・ニブチの森の散策など体験プログラムの充実
- ・工場見学・体験などの充実（酒造・製糖・陶芸） など

# 4 今後の展開に向けた整理



## 自然の豊かさを最大限生かす環境づくり

宇江城岳とそれを源流として広がるラムサール条約湿地、比屋定バンダなど久米島の自然の雄大さや豊かさが感じられる地域として、これらの自然環境・景観の保全・活用を図る

## 空港・フェリー港が立地するアクセス性の良さを生かした観光振興

島外と久米島をつなぐ交通の拠点であり、多くの観光資源が立地する地区として、今後は、交通アクセス性をさらに生かすため移動環境の向上等により、観光振興を図る

## 久米島らしいのどかさを継承する環境づくり

穏やかな海と山の自然、一面に広がる柔らかい緑色のサトウキビ畑等の農地の風景など、久米島の特徴であるのどかな風景や環境を継承する

## 既存のポテンシャルとこれまでにない新たな開発・計画が融合した滞在型観光の拠点形成

ハテの浜やイーフビーチ、奥武島などを中心とした久米島観光を牽引する既存の観光資源・施設と、海洋深層水施設や風の帰る森プロジェクトなどの今後の久米島観光の目玉となる施設が連携しながら、これまでにない観光リゾートの提供等により島内滞在における拠点として、特に観光振興に注力する

# 4 今後の展開に向けた整理

東部地区の大部分が国内外からの観光旅客に対応した観光関連施設の整備を促進する沖縄観光地促進地域に指定されています。また、本地区は観光資源が集積し、海洋深層水利活用モデルや風の帰る森等の新しいプロジェクトが進められており、今後も久米島観光を牽引するエリアであると考えられます。そのため、より具体的に方向性やメニューについて検討しました。

## ❖ 現状と課題

	①ハテの浜	②オーハ島	③奥武島	④真謝・字根	⑤イーフビーチ周辺	⑥島尻・銭田
現状 まとめ	・観光拠点ではあるが、渡船でのアクセスのみで、トイレ等の施設は整備されていない	・消滅集落となった後、手付かずのまま、原野が広がる	・観光施設は立地するものの現況の施設では、滞在等はあまり見込めない ・島のほぼ全域が事業用域に指定されている	・多様な文化・景観・観光資源が集積し、山並・農地と一体的な空間を形成している ・仲里漁港一帯が事業用域に指定されており、工業用地の拡張も見込まれている	・宿泊施設や飲食店が集積し、観光客の滞在するための拠点となっている	・豊かで落ち着いた自然環境と集落が立地している ・南側一帯は事業用域に指定されており、銭田森林公園では風の帰る森プロジェクトが進行している
課題	・良好な自然環境や景観の保全・活用 ・アクセス改善や受入れ環境の整備・高質化	・奥武島やハテの浜と一体となった島嶼景観に配慮 ・アクセス確保 ・観光プログラム開発等による島の有効活用及び環境整備	・オーハ島と一体となった島嶼景観に配慮 ・滞留のための宿泊施設・飲食店等の充実	・伝統的集落や文化財等の保全と既存の観光資源を活用した回遊の促進 ・滞留のための宿泊施設・飲食店等の充実 ・海洋深層水を活用した研究・観光施設の誘致	・既存の宿泊施設（ホテル・民宿）の環境改善 ・飲食店や土産物店等の量と質の向上、及び商品・メニューの充実	・事業用域を活用した観光のバリエーションの充実（スポーツ・レクリエーション施設の整備） ・風の帰る森プロジェクトとの連携



# 4 今後の展開に向けた整理

## ❖ 方向性と整備メニュー

### ④真謝・字根

将来像	既存資源を有効活用した 久米島らしい産業・研究の発信地
方向性	既存の施設・案内等の充実と資源活用のための施設整備、海洋深層水を活用した産業・研究施設等の誘致 (機能) 産業・文化・研究
メニュー	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 海洋深層水等の資源活用のための施設開発</li> <li>✓ 案内・情報発信等の充実</li> <li>✓ 着地型パッケージの推進 など</li> </ul>

### ⑤イーフビーチ

将来像	安心して快適に滞在できる 久米島の観光リゾートの本拠地
方向性	イーフビーチ周辺における滞在機能・体験プログラムの充実 (機能) 宿泊 - リゾートホテル等 -
メニュー	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 飲食店、カフェ等の充実 (誘致等)</li> <li>✓ 宿泊施設の改修</li> <li>✓ 休憩施設の整備</li> <li>✓ ウェルネスプログラムの充実 など</li> </ul>

### ⑥島尻・銭田

将来像	海と森が融合した新たな観光・レクリエーションの拠点
方向性	「風の帰る森」整備に合わせた地域間の連携強化と自然の豊かさが感じられる施設・体験の充実 (機能) レクリエーション
メニュー	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「風の帰る森」整備に合わせた周辺プログラムの検討 (トレッキング、ヒーリング等)</li> <li>✓ 海と森の連携したプログラムの検討</li> <li>✓ レクリエーション施設の誘致 など</li> </ul>

## ❖ ゾーニング図



### ②オーハ島・③奥武島

将来像	新たな魅力を創出する これまでにない滞在型リゾート拠点
方向性	島嶼・リーフ等の自然環境のダイナミズムを活かし、オーハ島と奥武島が一体となった新たな宿泊リゾート等の誘致 (機能) 宿泊 - コテージ型宿泊施設等 -
メニュー	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 新規宿泊施設の誘致など長期滞在型リゾートを想定した開発の実施</li> <li>✓ アクセスの整備 など</li> <li>✓ オーハ島と一体となったリゾート開発の促進 (宿泊誘致等)</li> <li>✓ バーデハウスの利活用検討 など</li> </ul>

### ①ハテの浜

将来像	久米島全体を先導する 観光リゾートの核
方向性	快適性向上、高級感の醸成のための施設整備 (機能) 海水浴・マリンスポーツ
メニュー	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 台船等の整備</li> <li>✓ 仮設トイレの設置</li> <li>✓ アクセスの改善 など</li> </ul>

❖ 「久米島町における新たな観光ビジョン」の策定経緯

策定にあたってはヒアリング調査等により久米島観光の現状や課題を把握しながら検討を行い、有識者及び町内の団体・事業者等による検討委員会を計3回実施し、審議を行いました。

<p><b>第1回 久米島町 新たな観光ビジョンに関する検討委員会</b></p> <p>日時：平成29年10月3日（火） 14:00～16:00</p> <p>場所：久米島町役場仲里庁舎2階会議室</p>	<p><b>【議題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・取組の趣旨、委員会の進め方</li> <li>・久米島観光の現状および課題</li> <li>・新たな観光ビジョンの方向性</li> </ul>
<p>(10～12月) ヒアリング調査・事例調査</p>	<p><b>【ヒアリング調査の実施】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町内関係者 (ホテル事業者・交通事業者・観光協会等)</li> <li>・旅行者</li> <li>・デベロッパー</li> </ul>
<p><b>第2回 久米島町 新たな観光ビジョンに関する検討委員会</b></p> <p>日時：平成29年11月27日（月） 15:00～17:00</p> <p>場所：久米島町役場仲里庁舎2階会議室</p>	<p><b>【議題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新たな観光ビジョンの位置づけ</li> <li>・久米島観光に関するヒアリング結果</li> <li>・事例等を踏まえた久米島観光の課題、方向性等について</li> <li>・新たな観光ビジョンの方向性</li> </ul>
<p>(12～1月) WEB アンケート調査</p>	<p><b>【アンケート調査の実施】</b></p> <p>過去1～2年で久米島を訪れた人を対象に旅行形態や行先、満足度、課題等について質問</p>
<p><b>第3回 久米島町 新たな観光ビジョンに関する検討委員会</b></p> <p>日時：平成30年3月2日（金） 15:00～17:00</p> <p>場所：久米島町役場仲里庁舎2階会議室</p>	<p><b>【議題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前回委員会での意見を踏まえた反映</li> <li>・観光客WEBアンケート調査結果</li> <li>・久米島町における新たな観光ビジョン（案）</li> </ul>

❖ 久米島町における新たな観光ビジョンに関する検討委員会 委員名簿

	氏名（敬称略）	所属	備考
1	下地 芳郎	琉球大学観光産業科学部観光科学学科	委員長
2	大田 治雄	久米島町役場	
3	比嘉 護	一般社団法人久米島町観光協会	
4	嘉手苺 一	久米島商工会	
5	松元 靖	沖縄県農業協同組合久米島支店	
6	渡名喜 盛二	久米島漁業協同組合	
7	松元 徹	久米島紬事業協同組合	
8	新城 武	久米島町区長会	
9	村吉 政太	久米島町青年団協議会	

※事務局：久米島町役場 商工観光課／(株)オリエンタルコンサルタンツ

「久米島町における新たな観光ビジョン」

平成30年3月発行

発行 久米島町  
住所 〒901-3193 沖縄県島尻郡久米島町字比嘉 2870 番地  
電話 098-851-9162